

# にしまるやま通信

NISHIMAYA YAMA TSUSHIN NISHIMAYA YAMA TSUSHIN NISHIMAYA YAMA TSUSHIN NISHIMAYA YAMA TSUSHIN

NO.79 2013年  
1、2月号



「藻岩山山頂より、初日の出を拝む」

- 2013年、年頭所感 ● 診療技術部薬剤科のご紹介Vol.3
- お正月行事・節分 ● 確定申告
- ECO NEWS ● ロビーコンサート ● 編集後記

## \* \* 札幌西円山病院のご案内 \* \*

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 854床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

## 2013年 年頭所感



札幌西円山病院 院長  
峯廻 攻守

2012年末の、第46回衆議院議員選挙の結果を受け、二つの事が脳裏に蘇りました。一つは、新右翼一水会顧問鈴木邦男氏の「日本という国の政治レベルの質の低さは、一人一人の国民の政治レベルの質の反映である。」という言葉です。そして今一つは「アメリカ・経済界に飼いなされ、ただただ平伏する立場にのみ拘泥し、国民世論を操作せんと意図し続けた、日本の巨大マスメディア・ジャーナリズムの恐ろしくも甚大なる影響力」です。

国民一人一人に、「これからの政治はどう有るべきかを考える一大契機を与えたであつたはずの、2011年3月11日の東日本大震災、同年3月12日の福島第一原発事故」が、正に雲散霧消と言ったところですよ。

医療崩壊どころか、日本崩壊への扉が遂に開かれた選挙結果であると言わざるを得ないと考えます。2012年年頭所感では、戦後67年間一貫した「アメリカー経済界ー官僚ー政治家ー国民」、と言う逆立ちした政治・社会状況の推移を俯瞰致しましたが、今年は青臭いと思われかねないのを承知で、日本崩壊をくいとめ、日本再生の為の具体的解決策を圧縮して、昨年の年頭所感の順序立てで纏めた私見を述べさせていただきます。

### 1. 対アメリカ：

アメリカと日本との対等な関係を損ねる最大原因は、日米安全保障条約です。「沖縄を主とする米国軍人の犯罪は、既に50,000件を超えましたが、日本での正式な裁判は、わずか数件に過ぎないという現実」は何を示しているのか？「日本と日本人を守るために本条約がある。」という幻想から今こそ脱却すべきです。極めて簡単な手続き、即ち本条約第10条に基づき廃棄を通告し、1年後に廃棄実現の上、平等且つ平和な共存・共栄を目指す、友好条約を締結すべきです。日米安保もTPPも、とどのつまりはアメリカの世界戦略の一部でしかないのです。

そして戦後、アメリカの思惑で自衛隊はできました。がしかし、自衛隊員がただの一人の外国人を殺さず、ただの一人の自衛隊員も殺されずにすみません。その砦となった憲法第9条（今年も9条カレンダーを御配りしましたが）は医療人としては、これからも絶対に守り抜かねばならないものと考えます。イタリア北東部にあり、中世以降700年もの間平和な自国の独立を、外交のみで守り抜いた歴史を持つ、世界一小さな共和国サンマリノを見習い、戦争放棄の憲法の精神を真に生かす道の選択を、今一度、新たに決意すべきであります。もし子供や孫の世代が戦争へと借り出される事を考えるだけでも悲しく、恐ろしい事です。

### 2. 対経済界殊に大企業・富裕層：

1989年の消費税導入以来国民が支払ったと同等以上の260兆円もの内部留保をためこんでいる大企業に應分の負担を求めべきであります。研究開発減税、証券取引優遇税、米国式連結納税制度、輸出に関する優遇税制等々、挙げれば限りがありませんが、何よりも原子力発電の推進をアメリカ主導の下、未だに声高に主張する大企業の横暴を許しては、国民の暮らしを守る正しい経済の発展は望めないのです。ましてや未だに処理の技術も確立されていない核のゴミも、未来の子供達への甚大なる負の遺産と成るだけです。再度原発事故が起これば、正に日本崩壊どころか滅亡です。更には日本経済の土台を支える労働者全体の実に30%以上が非正規雇用で、とりわけ20歳代の労働者では、今や2人に1人が非正規雇用という現実是谁が作り出したのか。全てアメリカ・経済界の要望に基づくものです。また日本に360万人居るといわれる富裕層の投資可能資産も200兆円以上と言われます。税金は富める者程多く、即ち「応能負担の原則」の徹底こそが今こそ求められるのです。

### 3. 対エリート官僚：

定年までしっかりと国民の為に働いて貰い、天下りは全面禁止すべきです。但し、ボランティアでの社会貢献は大いに結構でしょう。給与・年金も、民間よりはずっと多く保証されていたのですから。但し一つ弁護したいのは、日本の公務員数は決して多くはないと言う事実です。ILOのデータでは、人口千人あたりの公務員数は世界37位であり、アメリカ、ドイツ、イギリス、フランスの、実に40~50%なのです。公務員もゆとりがないのです。だから国民目線ではなく、アメリカ・経済界目線となるのであり、また天下りも根絶出来ないのです。登山・旅行をしていて、日本の山々や河川の荒れ具合を肌で感じると、山々や河川の手入れをする公務員がいかに削減されたのか、その少なさが実感出来ます。先進国並みを目指すのであれば、高校・大学新卒者の採用も持続的に可能であり続けます。



#### 4. 対政治家：

第一に選挙制度の改革です。選挙制度は死票が無くなる比例制のみが良いと思います。民主主義を貫徹する為には一番理想的なのです。これが実現すると「一票の格差」、「死票」などと言う言葉も死語になります。事実今回の選挙の小選挙区、自民党の得票率は43%にすぎないのに、議席獲得数は何と79%に達したのです。全体の投票率が59%台なので、全有権者総数の実に24.67%のみで、日本の近未来が決められて行くのです。これが民主主義国家と言えるのでしょうか。（韓国大統領選の投票率75.8%が羨ましい。）残念ですが、それが今現在の国民の選択であり、政治資質であります。更には政治家自身が、身を切ると称し、議員定数の削減を主張するのは、本末転倒も甚だしい。国連データでは日本の議員数は世界64位であり、米国以外の先進国中では最低です。真に身を切るとは、政党交付金の廃止であり、企業団体献金の全面廃止であります。勿論議員歳費の削減も課題です。本来は議員定数を米国以外の先進国並みに増やし、できるだけ多くの国民の意思が反映されるべきです。

#### 5. 最後に、我々国民は何をすべきか：

巨大マスメディアの世論操作に惑わされず、一人一人の知性と判断力を取り戻すことに尽きます。その上で自分の子供達・孫達にどのような未来の日本を託すべきなのかを、今一度熟慮すべきであると思います。マスメディアに操作されている考え方～二、三の卑近な例を挙げてみます。

##### その一、ジェネリック医薬品

医療現場でジェネリック医薬品という言葉が出現して久しいが、私はジェネリック医薬品不要論者です。それよりも優遇期限の切れた先発医薬品の価格を、ジェネリック並みに下げる事の方が確実に無駄な医療費の抑制に繋がります。これが実現すると、生活保護受給者には全てジェネリックを、などと言うおかしい論議も無くなるでしょう。

##### その二、生活保護

お笑い芸人の次長課長の河本君が、国会質問で、自民党の知性ゼロと思しき某女性議員に実名で攻撃を受けて以来、生活保護受給者の肩身が狭くなるような報道ばかりが目につきます。しかし、不正受給は金額ベースで全体の2%にも満たない。これが国のデータです。「生活保護受給者よりも賃金の安い人がいるのはおかしい。だから生活保護費を抑制しろ」と言う。ちがうでしょう。生活保護費よりも安い賃金しか貰っていない人が居ると言う事の方がおかしいのであり、その人達の賃金を上げる方が先でしょう。なを、河本君のレギュラー番組は激減しました。

##### その三、犯罪防止には防犯カメラ・・・

今やイギリス、ロンドンには防犯カメラの洪水だそうです。（日本国内でも既に380万台以上設置されています。）防犯のために有効なのは、「格差の解消」と、「教育の充実」です。ちなみに日本の教育予算はOECD データでは30ヶ国中24位、お隣、韓国の約半分です。単一の犯罪原因を断定することは難しいのですが、社会学的には犯罪と貧困とは裏腹の関係にある事だけは間違いありません。格差をゼロにすることは不可能かもしれませんが、一人一人の人生における「教育を受ける権利」と其の為の「機会の平等」だけは何とか実現したいものです。其の為にも現在の貧弱な教育予算をなんとか増やさなければならないと考えるべきです。以上挙げれば限りがありますが、あたり前のように思わせられかねないあたり前でない考え方の報道実例です。

さて、そろそろ足元の話に戻します。2013年度深仁会経営基本方針が本日理事長より発表される予定です。最重要課題の一つが各プロジェクトの推進、当院ではK , N プロジェクトの推進が最重要課題と成る事は間違いありません。しかし、これら法人、そして当院にとっての最重要課題も、実は根っこの部分で前途の1～5の対策の成否の影響を如実に受ける事、そして今回選挙結果は正に逆風である事・・・を是非頭の中で結び付けて置くべきです。この逆風のさなかで、プロジェクトを成就させる前提条件は、人材（財）の確保と、経営基盤の安定です。この両者が両論としてバランスを保って前進し、初めてプロジェクトの実現に一歩また一歩と近づけるものと考えます。

其の為にも当院開院時の初心、即ち院訓に立ち戻り、親切、丁寧、敬愛を合言葉に、すべての職種が真のチーム医療の質向上を目指し、時には喧嘩しながらも、仲間意識を醸成し、連帯する心を失わずに、困難に立ち向かって前進しましょう。2013年が、皆さんにとって心身共に健康で、充実の一年となることを祈念致します。

2013.1.4





# 診療技術部薬剤科のご紹介 Vol.3

今回は薬剤科の注射室業務についてご紹介したいと思います。

注射室では注射の払い出しや調製を行っています。注射せんの受付から病棟への払い出しと、患者さまへ投薬されるまでの流れをご紹介します。

1・病棟から注射せんをFAXで受信

患者様ごとボックスに  
セットしています

3・注射せんをもとに患者様ごとに  
点滴などのお薬を取り揃えラベルを貼付



用法・用量や、注射薬同士の  
配合変化※などの確認を  
しています

2・処方内容の確認（処方監査）を行い  
その後内容をPCへ入力



入力された情報に基づき患者様のお名前や  
お薬の内容が記載されたラベルを出力

4・お食事を摂れない患者様の  
食事代わりになる点滴の  
無菌環境での混合作業



栄養満点の点滴なので、菌の繁殖を防ぐ  
ため無菌にて混合し  
ています

5・最後に取り揃え等の間違いや、  
処方内容を確認（監査）し病棟へ払い出し

6・配送後病棟で看護師さんによる  
チェックが行われ、患者様へ投与

※注射薬は内服薬に比べデリケートな薬品が多く、  
他の薬品と混ぜ合わせることで十分な効果がなくなることがあります。

人手による作業が多いため、1枚の注射せんにつ  
き2～3名が関わるようにすることで間違い  
を減らすよう努めています

次回は薬品管理業務についてご紹介したいと思います。





# お正月・節分行事

## 1月 お正月行事

今年も総合受付前に札幌西円山病院神社を設置し、多くの患者様にお参りに来ていただきました。おみくじも人気で、その場で結んで帰る方、お守り代わりに持ち帰る方と様々でしたが、書かれた内容を見て会話がはずんでいました。

お正月の飾り付けをした和室前での喫茶も、いつもとは違う雰囲気を楽しんでいただきました。

各病棟での獅子舞演舞は大いに盛り上がりました。お部屋の患者様は、ベッドサイドに来た獅子舞の訪室に驚きながらも笑顔が見られ、お正月の雰囲気を味わっていただけたようです。

今年も皆様にとって良い一年となりますように・・・！



## 2月 節分

今年の節分は日曜日でしたが、落花生と赤鬼・青鬼のお面を用意し、病棟ごとに豆まきができるようにしました。

豆まきで鬼を追い払い、1年間の健康と幸せを願いました。



## 【確定申告】 平成25年2月18日(月)～3月15日(金)

### <確定申告による医療費控除について>

平成24年1月1日から12月31日の1年間に自己又は自己と生計を一にする配偶者やその他の親族のために医療費を支払った場合には、一定の金額の所得控除を受けることができます。これを医療費控除といいます。

#### ★ 医療費控除の計算式

$$\left( \begin{array}{l} \text{平成24年中に} \\ \text{支払った医療費} \\ \text{の総額} \end{array} - \begin{array}{l} \text{保険金などで} \\ \text{補填される金額} \end{array} \right) - \left\{ \begin{array}{l} 10\text{万円} \\ \left( \begin{array}{l} \text{所得の合計額が200万円} \\ \text{までの方は所得の合計額} \\ \text{の5\%} \end{array} \right) \end{array} \right\} = \begin{array}{l} \text{医療費控除額} \\ \text{(最高200万円)} \end{array}$$

#### ★ 医療費控除の対象に含まれるもの

- 医師または歯科医師による診療又は治療の対価
- 治療又は療養に必要な医薬品の購入の対価
- 入院の際の部屋代や食事代
- 介護保険制度の下で提供された一定の施設・居宅サービスの自己負担額
- 通院費
- 義手・義足・松葉杖・義歯などの購入費用
- 6ヶ月以上寝たがりの人のおむつ代で、その人の治療をしている医師が発行した証明書「おむつ使用証明書」があるもの

★ ご不明な点等ございましたら、最寄りの税務署にお問い合わせください。

## 計画停電とエコ活動！

今年は例年よりも積雪が多いと感じられ、毎日の雪かきでうんざりされている方も多いと思いますが、2月に入り、少しずつ日も長くなり、春が来るのが待ちどおしい今日この頃です。

さて、皆様はもう忘れていませんか？北海道電力からも毎日のように「節電のご協力」についてのCM放送がされているのはご存知だと思いますが、昨年7月23日より約3ヶ月の間、北海道電力による「計画停電」が実施されました。

当院に於いても「計画停電」に備えて各棟に自家発電機を設置したり、一部の電球を外したり、節電の掲示物を貼り節電のご協力を促すなどを行い、夏季の計画停電については、大きなトラブルもなく無事に終える事ができました。冬季にも計画停電が実施されることが懸念されましたが、今のところ実施はされておらず、冬場に欠かせない暖房の確保など、何とか確保出来ております。

人が生活をする上で「電気」との共存が欠かせない中、地球温暖化防止に伴うCO<sub>2</sub>削減に向けたエコ活動も年々定着化されてきており、この「計画停電」と「エコ活動」が今後も大きな課題となるのは必然だと考えます。「計画停電の対応＝エコ活動」という考え方も一つの考え方だと思います。

一人一人が「節電」に対する意識を高めて、電気の大切さ（無駄な電気を使わないこと）を再度認識するように、今後ともご協力を宜しくお願い致します。



1月26日（土）、今年最初のコンサートが行われました。昨年もお正月コンサートでお琴の演奏を披露してくださったセシリアの皆さんが、今年もおなじみの曲を多数ご披露してくださいました。

「みかんの花咲く丘」や「ソーラン節」など、歌詞カードを会場の皆様にお配りすると会場は大盛り上がりでした。



### 編集後記 2013

年が明けてからも、たくさんの雪が降りましたね。

寒い日が続きますが、皆さま体調など崩されてはいませんか？

私はインフルエンザの予防接種をうち、手洗いうがい、マスク着用と予防対策万全です！冬はウィンタースポーツやさっぽろ雪祭りなど、楽しい行事がいっぱいですので、健康で安全に冬を楽しみましょう！

すべての  
お問い合わせは

郵便

〒064-8557  
札幌市中央区円山西町4丁目7-25  
札幌西円山病院 地域連携推進室内  
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい！

電話 (011) 644-1380  
FAX (011) 642-4347